

中標津町郷土館だより 第16号

中標津町の野鳥

(一年中、または冬季間を通じて見ることができる鳥)

これまでに中標津町内からは、私達がよく知っているスズメやカラスなどを含む41科168種の野鳥が確認されています。

「そんなにいるの?」と驚かれることも多いのですが、これらの鳥の全てが同じ時期に見られるわけではありません。また、たまたま旅の途中に中標津町へ立ち寄ったと思われるものも含まれています。

鳥たちのさえずりや、その姿をもっとも多く見ることが出来るのは5~6月の繁殖時期ですが、種類は少ないものの、冬季間にバードテーブルなどに来る鳥たちは間近でゆっくりと観察することができます。

冬季間でも見ることのできる鳥は、次の5つに分類されます。

- ①一年を通じて見られる鳥 (留鳥といいます)
- ②渡り鳥だが、近年は越冬もしている鳥
- ③冬にやってくる鳥
- ④渡りの途中の通過個体として見られる鳥
- ⑤冬にやってくる可能性のある鳥

ガンカモ科



ヒシクイ④ 天然記念物



オオハクチョウ③



コハクチョウ③ (写真は幼鳥)

※ヒシクイとオオハクチョウ、コハクチョウは牧草畑に下りて草を食べます。



マガモ③



スズガモ④



カワアイサ③

コガモ③

ホオジロガモ③

クロガモ④

ヨシガモ③

シマアジ④

シノリガモ④

ヒドリガモ③

キンクロハジロ④

ミコアイサ④

オナガガモ③

カルガモ③

ウミアイサ④

※マガモとカルガモは町内でも繁殖します。

ワシタカ科



トビ①



ハイタカ①



オオワシ④ 天然記念物



オオタカ①



オジロワシ④ 天然記念物

ノスリ④

カモメ科 オオセグロカモメ①

ハヤブサ科



シロハヤブサ⑥
ハヤブサ①

フクロウ科



エゾフクロウ①

シロフクロウ⑥



シマフクロウ① 天然記念物

ツル科



タンチョウ① 特別天然記念物

キツツキ科



コゲラ①

コアカゲラ①



アカゲラ①



クマゲラ① 天然記念物

セキレイ科



ハクセキレイ②

セグロセキレイ②

ヒヨドリ科



ヒヨドリ②

レンジャク科



キレンジャク③

ヒレンジャク③

ヒタキ科ツグミ亜科



ジョウビタキ②

※ハクセキレイ、ジョウビタキは2004年冬に越冬が確認されています。



ツグミ③

エナガ科



シマエナガ①

アトリ科



アトリ③

ベニヒワ③



ギンザンマシコ③

ハギマシコ③



シメ③

シジュウカラ科



ハシブトガラ①

コガラ①



ヒガラ①



シジュウカラ①

ゴジュウカラ科



ゴジュウカラ①

※シマエナガ、ハシブトガラ、ヒガラ、コガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラは冬に混群をつくり、力を合わせて冬を乗り切るバードテーブルの常連達です。

ホオジロ科 ユキホオジロ⑥

ハタオリドリ科



スズメ①

これらの他にも、年によっては渡りをしなかった種がまれに見られます。

冬の間の給餌について

冬になると、カラ類やケラ類が混群で庭木や街路樹にやってくる場合があります。

彼らの食性を利用し、ブタなどの脂身やヒマワリの種子をバードテーブルなどで与えてみてはいかがでしょうか。

ただし、過剰サービスは禁物です。自然界のバランスを崩す恐れもありますので、給餌は厳寒期のみに関り、春になったら終わりにしましょう。

写真提供：大河原彰、佐藤武夫、谷口征大、ジョディ=マックスフェール、出村孝弘、山宮克彦、吉田克枝(次頁も含む)

※オオワシ、オジロワシ、クマガラ、ヒシクイ、タンチョウについては「もっと知ろう身近な文化財」(1995年、北海道教育委員会)の写真を使用しています。

カラス科



ハシブトガラス①

カケス① ※冬になると平地にやってきます。



ハシボソガラス①

冬眠や冬ごもり中の動物

哺乳類



シマリリス

※同じ仲間のエゾリスは冬眠しません。



ヒグマ

アライグマ

見た目はかわいらしいのですが、実は凶暴です！エゾタヌキとよく似ていますが、

1. シッポが長く縞模様がある
2. 樹に登ります
3. 足跡に特徴があります（人の手に似ている）

※平成10年に町内でも確認されました。
※発見された方は、役場林務係か根室支庁環境生活課自然環境係まで連絡して下さい。

コウモリの仲間



ウサギコウモリ



チチブコウモリ

※コウモリの仲間は繁殖場所と冬眠場所が違います。しかしその生態については詳しくは分かっていません。

ネズミの仲間



エゾヤチネズミ

トガリネズミの仲間



エソトガリネズミ

両生類



アマガエル



エゾアカガエル

爬虫類



アオダイショウ



シマヘビ（通常タイプ）



ジムグリ



シマヘビ（縞の少ないムギワラ型）



カナヘビ



黒化型のカラスヘビ



エゾサンショウウオ

※ネズミの仲間については、「北海道の野生動物」(1987年、北海道新聞社)の写真を使用しています。

中標津町郷土館だより

第16号

発行：平成16年11月30日

発行所：中標津町教育委員会

標津郡中標津町丸山2-22

電話：教育委員会01537-3-3111

郷土館01537-2-2190